

山形県立図書館 令和 4 年度運営方針に基づく主な取組みの状況について

1 ときめく図書館 ～学びの意欲を喚起する空間の提供～

(1) 本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり

- 多様な主体と連携し、外部の視点を取り入れた賑わいづくりを推進するため、県内の大学や団体で構成する「賑わいづくり企画・実行委員会」を 5/28 と 9/2 に開催して意見聴取。(📷①)
- 年間を通じた賑わい創出のため、季節毎にフェスタを開催。7/9～8/7 に開催したサマーフェスタ(📷②③)では、9 イベントに計 318 人が参加(参加者数は対前年度 23%増。10/1～10/29 にオータムフェスタ(7 イベント)を開催予定。
- 社会情勢・時節を捉えたタイムリーな講座や企画展示を実施。《以下、主なもの》
 - ・SDGs ワークショップ(5/29 美しい山形・最上川フォーラムとの連携 📷④)
 - ・山の日全国大会本県開催記念企画展示「やまのよもやま」(6/21～8/31)
 - ・山形美術館「ますむらひろし展」と連携した絵本・画集等の展示(7/8～8/31)
 - ・「日本一美酒県山形フェア」応援展示「酒好きの心をくすぐる本」(8/20～9/25)
 - ・「山形ビエンナーレ 2022」連携展示「現代山形考：藻が湖伝説」(9/1～9/25 📷⑤)
- 遊学館内や近隣の施設・団体と連携した企画を実施。《以下、主なもの》
 - ・男女共同参画週間啓発展示(6/15～6/30 チェリアとの連携)
 - ・「チェリアフェスティバル山形 2022」連携展示(9/17～10/10 📷⑥)
 - ・企画展示と連携した「IL BLU 遊学館」による特別メニューの提供
桜あんバターパン／やまがたの棚田カレー📷⑦／最上伝統野菜を使ったパン など
 - ・文翔館、教育資料館、洗心庵との 4 館合同企画を実施予定(11/3～11/27)
- 県内公共図書館の専門性の向上を図るための研修を実施。
 - ・図書館職員専門研修[企画・広報編](6/20 📷⑧)
 - ・図書館職員専門研修[障がい者サービス編](10/17 予定)
 - ・図書館職員専門研修[著作権編](12/19 予定)

(2) 乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり

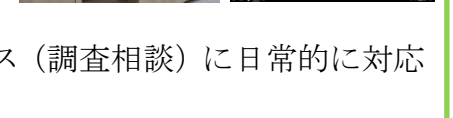
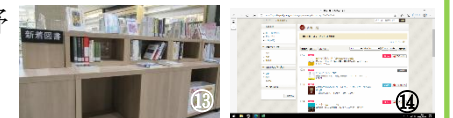
- 乳幼児期から本に親しむイベントとして読み聞かせ会を開催。《以下、主なもの》
 - ・「おはなし会」(東北文教大学 毎月 1 回 📷⑨)
 - ・「紙芝居のひろば」(山形紙芝居研究会 毎月第三土曜日 📷⑩)
 - ・「外国語の絵本を開いてみよう」(県国際交流員 5/14、7/31、今後 2 回予定)
- 児童生徒の読書を推進するための取組みを実施。《以下、主なもの》
 - ・ティーンズコーナーでのお薦め本の展示「若い人に贈る読書のすすめ 2022」(実施中)
 - ・夏休みの自由研究・工作・読書感想文に役立つ図書の展示「夏休み特集」(7/7～8/31 📷⑪)
- 県民各層の読書活動を推進するための取組みを実施。《以下、主なもの》
 - ・子ども読書週間に合わせた企画展示「夢いっぱい のりもの大集合」(4/19～6/18) 及び山形西高校合唱団による「絵本とうたの会」(5/7 📷⑫)
 - ・敬老の日に合わせた企画展示「心ゆたかに生涯読書」(9/8～10/15)
 - ・秋の読書週間(10/27～11/9)に合わせた企画展示「県内出版物展」(準備中)



2 たよれる図書館 ～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

(1) 県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり

- 郷土資料の積極的な収集と供用・活用を実施中。
 - ・「資料収集方針」(平成 13 年 11 月 21 日協議会答申)に基づき、例月の新刊図書の購入において本県居住者・出身者の著作物や本県に関する内容の出版物等を優先的に選定
 - ・市町村立図書館(室)との連携などにより情報を収集し、郷土出版物や行政刊行物、校史・社史についても積極的に収集(寄贈による収集を含む)
 - ・県教委「やまがたの魅力の理解促進事業」の蔵書整備予算により、児童生徒の郷土に関する探究型学習に活用できる図書(既刊本を含む)を収集
 - ・蔵書を活用した利用者の主体的な学びを支援するパスファインダーの項目追加を検討中
- 郷土資料以外の資料についても、「資料収集方針」に基づき、分野別のバランスや読書ニーズも考慮した収集を行うとともに、館内展示やホームページで新着図書として紹介。(📷⑬⑭)
- 所蔵資料を活用した調査研究や学びを支援するため、レファレンス(調査相談)に日常的に対応(令和 4 年 4 月～7 月: 7,669 件)
- 近年、大規模な自然災害や、幼児・児童が被害者となる事件・事故が国内各地で頻発している状況を踏まえ、関係資料の収集にも努めながら、県の関係部署と連携して県民の防災・防犯意識の高揚に資する企画展示やイベントを実施。《以下、主なもの》
 - ・「水害・土砂災害展」連携展示(6/1～6/29 県河川課及び砂防・災害対策課との連携)
 - ・「親子砂防教室」(6/25 県砂防・災害対策課との連携 📷⑮)
 - ・「みんなでつくろう安心なまち～防犯・交通安全について学ぼう～」(10/8 県警本部との連携)



(2) 県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮

- 市町村立図書館(室)と連携した県全域でのサービスの提供と市町村立図書館(室)への効果的な支援を行うため、次の取組みを実施。
 - ・市町村立図書館(室)への巡回訪問による県立図書館の事業内容やサービスの周知、各館独自の取組みや課題等の把握(5 月～7 月 19 市町村を訪問)
 - ・「公共図書館(室)実務者会議」の開催による共通の課題等に関する協議、情報共有(7/5)
 - ・県内公共図書館の専門性の向上を図るための研修を実施(再掲)
 - ・「第 42 回山形県図書館研究大会」を開催予定(10/19 長井市民文化会館)
 - ・連携企画「山形県図書館大賞」を実施(「不思議な話の本」をテーマとして、各館職員の投票により 20 作品程度を選出し、近日公表するとともに各館で企画展示を開始予定)
 - ・県教委「やまがたの魅力の理解促進事業」により、市町村立図書館(室)と協働し、郷土の魅力についての児童生徒の理解を促進する企画展示及びイベントを県内 4 地域で実施予定
村山(山形市): 10/ 8 『つや姫』『雪若丸』開発者に聞く! 美味しいお米ってどうやってできたの?』
10/16 「絵本作家長野ヒデ子氏講演会『絵本と紙芝居はごはんです』」
置賜: 11/ 1 (予定) 庄内: 12/ 上旬(予定) 最上: 12/24 (予定)
- 若者の読書活動の推進に向け、学校図書館との連携強化を図るため、次の取組みを実施。
 - ・高等学校教務主任連絡協議会(5/25)における県立図書館のサービスの説明、活用の呼びかけ

- ・県立高校の学校図書館への訪問を実施し、課題やニーズを把握（6月に3校を訪問）
- ・県内高校・大学図書館に対する図書館職員専門研修への参加呼びかけ

■新生活様式に対応した新たな連携・情報伝達の手法として、図書館職員専門研修をウェブ会議システムやウェブ上での動画配信を併用しながら実施。

3 つながり・ひろがる図書館 ～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～

（1）インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進

■オンライン環境を備えたアクティブラーニングルームを連携イベント等に活用するとともに、探究型学習や生涯学習の成果発表等の場として供用。（⑬）（4月～9月の利用26件、うちオンライン／ハイブリッド形式のイベントは未実施）



■ホームページやSNS（Facebook、Twitter）等を活用し、企画展示やイベントの告知及び実施結果、お薦め本情報等を頻回に発信。特にTwitterは館の日常を含め1日1件以上の投稿を励行中。（4月～9月の掲載・投稿件数：HP約80件、Facebook約120件、Twitter約400件）

■インターネットを活用した情報発信強化の一つとして、講座の動画配信を実施
・本の森講座「山形の刀剣～姫鶴一文字と五虎退光を中心に～」（5/20～⑭）



■令和5年3月の図書館情報システム更新と併せ、ホームページの改善に向けて作業中。スマートフォンからの利用に適した画面表示、「こどものページ」のデザインを一新するなど、見やすさ、使いやすさの向上を図る予定。

■非来館型サービスの充実として、図書館情報システム更新に伴い出張カウンター機能（インターネットを介し、館外での利用者カード発行等が可能）を整備予定。年度内の館外イベントでの試行を検討中。

■県教委「やまがたの魅力の理解促進事業」により、デジタルライブラリー（ホームページで公開中の、史料としての価値が高い写真、版画、和装本、絵図のデジタル画像集 ⑮）を、児童・生徒の探究型学習での活用を想定し改善・充実を図る予定。



■電子書籍サービスの検討のため、提供されているサービスや県内外の動向などの情報を収集中。

（2）連携・協働によるサービスの充実

■新型コロナの感染拡大防止のため活動を中止していた図書館ボランティアについて、2月の蔵書点検に向けて再開を検討中。併せて、企画展示やイベント、広報などより幅広い業務を支援いただく図書館サポーター（仮称）への再構築について検討中。

■協働による賑わいづくりを推進するための情報共有・意見交換の場として、「賑わいづくり企画・実行委員会」を5/28と9/2に開催（再掲）

■外部から資金面での協力を得てサービスの充実を図るため、雑誌スポンサーの拡大に取り組み、新たに2社2誌の協力を獲得（計9社10誌）。また、Facebook及びTwitterにより使途明示型ふるさと納税（山形県立図書館サービス向上事業）の利用を呼びかけ。（9/14）

■利用者のニーズ等を把握し図書館運営に活かすため、利用者アンケートを実施。（6/7～6/12 回答数470）

目標指標の到達状況

指標名	令和4年度目標	令和4年9月まで実績	中間評価 ()内は9月時点の到達水準
【1 ときめく図書館】			
新規利用登録者数	4,000人以上	2,368人	○ (118.4%)
個人貸出冊数	350,000冊	169,940冊	△ (97.1%)
イベント参加の満足度 (5段階評価)	アンケートを実施した 全てのイベントで4以上	4以上 4/4	○
【2 たよれる図書館】			
蔵書回転率 (個人貸出冊数/蔵書冊数(図書))	47%	—	年度途中での 評価が困難
パスファインダー数	47点	45点	△ (増加なし)
県内市町村立図書館(室)への貸出冊数	8,000冊	1,642冊	△ (41.1%)
学校図書館への延べ貸出冊数 (一括・セット)	22回	10回	△ (90.9%)
図書館職員研修の参加満足度 (5段階評価)	全研修で4以上	4以上 1/1	○
【3 つながり・ひろがる図書館】			
図書館ホームページの延べ閲覧 ページ数(ページビュー数)	1,500,000ビュー	713,711ビュー	△ (95.2%)
インターネット予約貸出のうち 他館受取冊数	4,500冊	3,151冊	○ (140.0%)
図書館サポーターの延べ活動日数 (人・日)	今後設定	—	—
利用者アンケートの満足度 (施設)	4.5以上	4.4	× (97.8%)
利用者アンケートの満足度 (スタッフ)	4.5以上	4.4	× (97.8%)

《中間評価 略号》

◎：既に達成 ○：順調に推移 △：今後更に努力が必要 ×：未達成（確定）

今後も運営方針に基づく取組みを着実に推進

県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献